

令和7年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和8年 4月 7日

団体所在地 東広島市黒瀬町津江 857
団体の名称 東広島市
職・氏名 所長 長澤 知子
(施設名 東広島市立暁保育所)

1 活動報告

【4月～6月】(春季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・田んぼの周辺の散歩(春みつけ・草花遊び)
- ・フィールドである神社の裏山探検
(タケノコ発見、掘ってみよう)
- ・畑に夏野菜を植える
- ・園庭にやってくる虫探し・虫取り・図鑑調べ
- ・畑の野菜の収穫・味わう
- ・年間...ミミズのコンポスト

【7月～9月】(夏季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・保護者と一緒にワークショップ「竹を使って、
様々なものを作ってみよう」
- ・保護者に向けて「自然体験活動の意義」について
の講演会
- ・園庭にやってくる虫探し・虫取り・図鑑調べ
- ・夏野菜の収穫・味わう。冬野菜を植えてみよう
- ・園庭で水・草花・夏野菜のくずを使って遊ぼう

【10月～12月】(秋季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・フィールドの山で秋の木の実、草花・蔦を採取。
それらを使って遊んだり、様々なものを作ったりする。
- ・作物を収穫し、クッキング、味わう。
(サツマイモ・米・干し柿)
- ・園庭で焚火体験(焼き芋・マシュマロ・お茶
を沸かしてみよう)
- ・タマネギ・豆類を植えよう
- ・稲刈り後の田んぼで遊ぼう

【1月～3月】(冬季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・雪遊び
- ・氷遊び
- ・干し大根を作って、焚き火で煮て食べてみよう。
- ・焚き火でホットドックを作ろう
- ・ジャガイモを植えよう
- ・田んぼの周辺の散歩

活動報告（詳細）

1シーズンにつき最も印象的だった活動のエピソード1つご記入してください。

エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。

写真は基本1枚です。

【4月～6月】



【7月～9月】



(エピソード記述)

・園庭の花壇やプランターに植えてあるパンジーやビオラの花に毛虫がついているのを発見した子ども達。保育士は刺されるから触ってはいけないことを伝えていた。しかし、ある保育士が何の毛虫なのか子どもと一緒に図鑑を使って調べてみると「ツマグロヒョウモン」ということがわかり、更にこの毛虫は刺さないことがわかった。すると、「飼ってみたい」ということになり、飼育ケースに葉っぱや花びらを入れて世話をするようになりました。干からびた感じになりながらも、何とかちょうちょにすることに成功し、みんなで観察し、空に返してあげることができました。様々な発見があった場面だった。

(エピソード記述)

・自然体験アドバイザーの菊間先生を迎え、ワークショップを開き、竹を使って皿や花瓶など様々なものを親子で作った。保護者の方も工具などを使ったことがない方もたくさんおられたが、保護者同士でコミュニケーションを取りながら作りました。中でも、工具の扱いや竹細工に長けている方もおり、水鉄砲、ぼっくりなども作ってくださり、その保護者はヒーローのようでした。保育士も、プラスチックのスコップが削れてなくなっていくことに気づき、自然環境の破壊につながっていることを知り、竹でスコップを作った。今は、そのスコップで子どもたちは砂遊びをしています。

【10月～12月】



(エピソード記述)

・園庭で、山で拾ってきた小枝や枯れ葉、もらった木を使って焚き火を何度か体験していました。焚き火で、焼き芋をしたり、お茶を沸かししたりして楽しみました。焚き火をするたびに「今日は何を焼く？何食べる？」とワクワクの子どもたちです。その日はマシュマロを焼きましたが、食べ終わった子にもう食べるものはないことを伝え、年長児が拾ってきたどんぐりをフライパンで焼いてみることに・・・なかなか焼けたか分からないながら、「なんかにおいがしてきた」と感じ、どんぐりの皮をむいてみると、「焼き立てのパンのにおいがするー」と発見した子ども達でした。その後、それを見ていた年少児も一緒になって、どんぐりの皮をむいてフライパンで焼いては、「アーモンドみたいだね」と実験のように楽しんでいました。

【1月～3月】



(エピソード記述)

・園庭の畑で大きな大根を収穫することができた。たくさんできたので、年長・年中児を中心に干し大根を作った。1か月ほどテラスに干して、日々小さくなっていく様子を見ていた。できあがり鶏肉と一緒に煮て、焚き火を囲って試食してみることにした。鍋を開けると不思議なことにあんなに小さくなっていた大根が大きく膨らんでいた様子に子どもと一緒に驚いた。もっと驚いたことに、給食で全く野菜を食べない年長の男児が、配ってもらった鍋の列に並んでいるではないか。保育士が尋ねると「食べてみたい」と一言。一切れではあったが「おいしかった。干し大根なら食べられる」と嬉しそうに伝えてくれた。自分たちで作った干し大根、焚き火といういつもと違ったシチュエーションが食べる意欲につながった場面だった。

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について

（例）こども環境管理士を担当保育士が取得（12月）

①ひろしまけん自然保育認証団体に関わる研修に参加（6月・9月・11月）

- ・ 地域との関わりについて

（例）専門知識のある地域の方に園庭のぶどうの木の選定や野菜づくりを月一回交流（毎月）

①地域の農家の方に稲づくりを教えてもらいながら、園庭のコンテナ田んぼで稲づくり。出来上がったお米でおにぎりパーティーをして味わった。

②園庭のみみずコンポストで、給食の残菜を子どもたちとあげて、たい肥作り。時々専門の方にも来ていただき色々教えてもらいながら進めていった。出来上がったたい肥で野菜を作り、年長児の卒園式に飾るパンジーを育て、花を添えた。

- ・ 保護者との関わりについて

（例）果物や野菜を保護者と一緒に収穫（毎月）

①自然体験アドバイザーの菊間先生を迎え、参観日でワークショップを開き、一緒に竹を使った小物を作った。ワークショップ後に、自然遊びの意義について講義を受けた。

②11月に、一緒に山探検に行き、様々な木の実。草花遊びを体験した。

- ・ その他

＊より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページやSNSのURLをご記入ください。

U R L	
-------	--